

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】令和4年10月17日(2022.10.17)

【公開番号】特開2021-98919(P2021-98919A)

【公開日】令和3年7月1日(2021.7.1)

【年通号数】公開・登録公報2021-029

【出願番号】特願2019-232097(P2019-232097)

【国際特許分類】

D 0 4 H 1/728(2012.01)
 A 6 1 K 8/02(2006.01)
 A 6 1 Q 1/02(2006.01)
 D 0 1 F 1/04(2006.01)
 D 0 6 B 11/00(2006.01)
 A 4 5 D 44/22(2006.01)

10

【F I】

D 0 4 H 1/728
 A 6 1 K 8/02
 A 6 1 Q 1/02
 D 0 1 F 1/04
 D 0 6 B 11/00 A
 A 4 5 D 44/22 Z

20

【手続補正書】

【提出日】令和4年10月5日(2022.10.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

30

【特許請求の範囲】

【請求項1】

着色剤及びナノファイバを含有する着色不織布の製造方法であり、
 電気紡績法により高分子化合物Aを噴射してコレクタの表面にナノファイバを堆積させる工程、を含み、
 該コレクタのナノファイバが堆積する表面の少なくとも一部に凹凸形状を有し、
該凹凸形状が皮膚の表面形態を模した形状である、着色不織布の製造方法。

【請求項2】

下記の工程1-1を含む、請求項1に記載の着色不織布の製造方法。

工程1-1：電気紡績法により高分子化合物Aと着色剤とを同時に噴射してコレクタの表面に着色剤含有ナノファイバを堆積させて、着色不織布を得る工程

【請求項3】

工程1-1において、高分子化合物Aと着色剤とを含有する噴射液を用いる、請求項2に記載の着色不織布の製造方法。

【請求項4】

前記噴射液中の高分子化合物Aの含有量に対する着色剤の含有量が、30質量%以上110質量%以下である、請求項3に記載の着色不織布の製造方法。

【請求項5】

下記の工程2-1及び工程2-2を含む、請求項1に記載の着色不織布の製造方法。

工程2-1：電気紡績法により高分子化合物Aを噴射してコレクタの表面にナノファイ

40

50

バを堆積させて、無着色の不織布を得る工程

工程 2 - 2 : 工程 2 - 1 で得られた無着色の不織布にインクジェット印刷方法により着色剤を付与して、着色不織布を得る工程

【請求項 6】

工程 2 - 1 で用いる噴射液中の高分子化合物 A の含有量が、2 質量 % 以上 20 質量 % 以下である、請求項 5 に記載の着色不織布の製造方法。

【請求項 7】

高分子化合物 A が、水不溶性高分子化合物を含む、請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の着色不織布の製造方法。

【請求項 8】

水不溶性高分子化合物が、水溶性を有しつつ、水不溶化処理により水不溶性となる水溶性高分子化合物である、請求項 7 に記載の着色不織布の製造方法。

【請求項 9】

着色剤が、着色剤を含有するポリマー粒子である、請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載の着色不織布の製造方法。

【請求項 10】

更に下記の工程 3 を含む、請求項 2 ~ 9 のいずれかに記載の着色不織布の製造方法。

工程 3 : 得られた着色不織布に、インクジェット印刷方法により着色剤を付与して、更に着色された着色不織布を得る工程

10

20

30

40

50